

令和8年6月第2回定例会



議 会

No. 281



..... 5月29日から6月12日までの15日間

今議会では、専決処分の報告2件の他、[承認7件、予算案3件、事件案4件、条例案2件、同意案1件]をすべて承認・可決・同意しました。

また、陳情3件は継続審査、議員発議2件（可決）は国に意見書を提出しました。

なお、賛否の分かれた議案は、19ページに記載しています。

報告

(百円以下を四捨五入)

●権利の放棄について（今後とも費用を徴収できないことが見込まれるため）

- ・緊急安全措置事業（倒壊の危険がある家屋の補強等対応）の所有者負担費用

154万円

- ・水道料金未収金

5万7500円

●損害賠償の額を定める専決処分の報告について

村内団体に貸し出した体育支援車からの飛び石により、後方車両の車体および

フロントガラスを損壊させたことに対する損害賠償

24万5500円

承認

令和7年度一般会計補正予算（第12号）の1億432万円減額（総額50億2605万円）および特別会計補正予算の専決処分を事業実績による減額と認め、全会一致で承認しました。

(千円以下を四捨五入)

補正予算

令和8年度一般会計補正予算（第1号）では628万円の増額を全会一致で可決しました。（現在の予算総額43億228万円）

主な内容を抜粋してお知らせします。

(千円以下を四捨五入)

民生課

- ・戸籍住民基本台帳費 41万円
(パソコン購入、システムセットアップ委託料他)

建設課

- ・一般道路維持費 944万円（含：過疎債）
(アスファルト舗装用資材値上げによる増額)

生涯学習課

- ・池の平スポーツ施設管理費 931万円（含：辺地債）
(クロスカントリーコースの舗装用資材高騰による増額)

産業課

- ・池の平スポーツ公園整備事業 132万円
(暴風により倒壊した納屋の撤去)

産業企画室

- ・空き家の緊急安全措置対応 330万円
(所有者不在の危険家屋で、飛散の恐れのあるものの撤去)

- その他 人事異動・退職等に伴う人件費の増減 ほか



議会に対するご意見
をお聞かせください。

電話

☎0269(82)3111
(内線170)

E-mail

gikai@vill.kijimadaira.lg.jp

発行：木島平村議会
編集：議会だより編集委員会

● 事件 ●

- 「辺地に係る公共的施設の総合整備計画（令和7年度から令和11年度）」の変更
 - ・クロスカントリー競技場の改修工事費を3500万円増額（中東情勢による資材高騰のため）
※財源の内訳：特定財源1600万円追加、辺地対策事業債1900万円追加
- 物品売買契約の締結について
 - ・村道除雪用 タイヤドーザ（16 t 級） 2229万円（株）前田製作所 飯山営業所
 - ・小型油圧ショベル 801万円 日本キャタピラー合同会社 長野営業所
- 工事請負契約の締結について
 - ・クロスカントリー競技場オーバーレイ工事 5940万円（株）サンタキザワ
 - ・堆肥センター長寿命化工事 1 億2210万円（株）サンタキザワ

● 条例改正 ●

- 木島平村消防団員等公務災害補償
条例の一部改正
国家公務員の給与表改正に伴う改正（補償
金額を増額するもの） ほか

● 同意 ●

- 固定資産評価審査委員の選任に同意
しました。
渡辺 隆 氏（糠千）
任期 令和8年7月1日から3年間

◆◆◆ みなさんからの請願・陳情 ◆◆◆
(いずれも県外の方から提出されました)

- 「臓器移植に関わる犯罪に巻き込まれることを防ぐための環境整備等を求める意見書」提出の陳情
 - 「mRNAワクチン（レプリコンワクチンを含む）接種事業中止の意見書提出」を求める陳情
 - 「消炎鎮痛剤や抗アレルギー薬など、薬の追加負担を行わないこと」を求める陳情
- 3件とも継続審査としました。
理由は「趣旨は理解できるが、専門的な知見も必要で、一概に判断できないため」です。

◆◆◆ 議員からの提出議案 ◆◆◆

受理番号	件 名	結 果	対 応
発議第2号	社会福祉法等の一部を改正する法律案の慎重審議を求める意見書の提出について	可 決	衆・参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣あてに意見書を提出。
発議第3号	外交努力による中東地域の早期事態収拾を求める意見書の提出について	可 決	衆・参議院議長、内閣総理大臣 あてに意見書を提出

◆◆◆ 賛否の分かれた議案の結果 ◆◆◆

議 案	議 員 名								採決結果
	関達夫	湯本直木	湯本行浩	山本隆樹	山浦登	丸山邦久	江田宏子	山崎栄喜	
工事請負契約の締結について (堆肥センター長寿命化工事)	○	×	○	○	○	○	○	○	可決

■表の説明：○：賛成、×：反対（議長は議決に参加しないため、議員名から外してあります）

「令和8年3月定例会の審査意見」に対する村の対応

【令和8年度一般会計予算について】

総務課

「正規職員の採用」については、財政状況及び人口減少の動向を踏まえ、計画的かつ適正な人員配置となるよう十分検討されたい。

対応 正規職員の採用や人員配置の最適化は、組織の能力を発揮するうえで極めて重要な事項。財政状況や人口減少の動向に加え、行政ニーズの多様化や若手人材の確保、年齢構成などにも配慮しながら、計画的な採用に努める。

「先進地への視察研修等」については、取組みや成果を共有し、施策等に反映されるよう取り組まれない。

対応 従来の復命書回覧にとどまらず、庁内での報告書の共有や成果報告会の実施など、得られた知見を共有する仕組みを強化しつつ、本村の地域特性や現状の課題を勘案しながら、施策への反映を積極的に検討していく。

産業課

「観光ビジョン」については、実施主体やスケジュールを明確にしたアクションプランを早期に示し、着実な推進に努められたい。

対応 アクションプランの早期策定については、その重要性を認識しており、現在検討を進めているところ。関係団体や事業者のみなさんの意見も参考にしながら、令和8年9月までに策定したいと考えている。

「創業支援補助金」及び「事業承継補助金」については、移住・定住施策と連動させ、補助金の増額など戦略的な施策と活用促進を図られたい。

対応 地域経済の活性化と持続的な発展を図る上で、創業及び事業承継の促進は重要な課題。移住相談の際に、移住推進係において村の各種支援制度を案内している。補助対象経費の範囲や上限額についても、近年の物価変動や創業及び事業承継を取り巻く実情を踏まえ、必要に応じて見直しを検討していく。

「堆肥センター」については、長寿命化工事では根本的課題（開放型施設への改善や従業員の健康管理への対応など）の解決には至らず、今後も多額の改修費用や運営費が見込まれる。検討委員会の設置とともに、現行スケジュールの前倒しを含め、早急に次の段階に向けた検討を進められたい。

対応 施設の老朽化が進行していることから、まずは施設の安全確保を最優先に、現在、長寿命化工事の発注に向けた事務を進めている。検討委員会については、今年度上半期中の組織を予定しており、検討委員会において、施設のあり方や今後の整備方針について、現行スケジュールの前倒しを含め検討していく。

産業企画室

「木島平ブランド再構築事業」については、アドバイザーの活用で、自ら主体的に考え行動できる体制の構築、実効性ある取組みにつなげられたい。

対応 事業を進めていく中で、職員が外部専門家の知見を吸収し、自ら主体的に考え行動できる体制の構築とともに、実効性のある取組みにつながるよう努める。

調布市の「アンテナショップ新鮮屋」および「職員派遣」については、必要性や効果等について十分検証し、今後の方向性を示されたい。

対応 アンテナショップ新鮮屋については、その機能や取り巻く環境などから今後の施設のあり方について検討を進めていく。職員派遣についても、今後の「アンテナショップ新鮮屋」の機能等も考慮しながら、派遣の必要性、効果を検討し方向性を示す。

建設課

「賃貸住宅の設備更新（トイレ等）」については、住宅の状況等を踏まえ、優先順位を精査し、計画的に実施されたい。

「シャトル便・デマンド交通・スクールバス等の委託費」が倍増している現状を重く受け止め、公共交通の持続可能な運営の観点から、総合的な交通体系のあり方を早急に検討されたい。

対応 賃貸住宅の設備（トイレ等）については、状況を踏まえ計画的に更新を実施する。

対応 運行委託費が増加している状況は、村の財政においても大きな課題である。持続可能な公共交通体系を維持するためには、限られた経営資源としての予算、ドライバー、車両を効率よく活用するため、「総合的な交通体系」について引き続き、関係団体との協議も含めて検討を進める。

各議員の一般質問の項目

6月4・5日に8人が一般質問を行いました。質問・答弁の要旨は来月（8月号）の議会だよりに掲載します。

第1日目（6月4日）

1 湯本 直木

- ①堆肥センター長寿命化計画の見直しは
- ②第7次総合振興計画の重点プロジェクトの実施状況は
- ③園児の主食持参の見直しのその後は

2 山本 隆樹

- ①地域公共交通について
- ②「住みたい田舎」更なる取組を

3 丸山 邦久

- ①観光ビジョンの策定とその後の進捗は
- ②渇水対策について
- ③地域おこし協力隊の定着率について
- ④空き家・空き地取得者に対する条例制定について

4 江田 宏子

- ①学校・保育園の給食について
- ②高齢者福祉の法改正による影響と村の施策について
- ③ファームス木島平の再整備方針について

第2日目（6月5日）

1 湯本 行浩

- ①村におけるハラスメント防止と適正な組織運営について
- ②人口減少を見据えた今後の村づくりについて

2 山崎 栄喜

- ①道の駅再整備について
- ②集落の集会施設の改修等に対する補助について
- ③ゴミ袋の記名廃止について
- ④生涯学習の推進について

3 山浦 登

- ①一般会計予算編成の疑問点を問う
- ②中東戦争による物資不足、物価高騰対策について
- ③予備自衛官等兼業特例法について

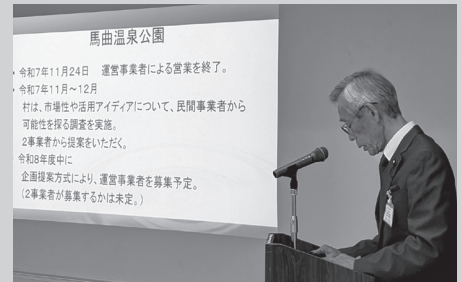
4 関 達夫

- ①憲法公布80年改正は村民が納得する説明が大事
- ②生活環境保全のコストはどうあるべきか
- ③奨学金貸付制度は誰の為か

議会報告会の開催

～議会活動を報告し、皆さんと意見交換を行いました～

議会として、日頃の議会活動や議会改革の取組み、3月定例会の概要などを報告するとともに、村政や議会活動について住民の皆さんと意見交換を行うため、4月14日（火）と18日（土）に議会報告会を開催しました。



議会改革の取組みと当日の内容について

前回の村議会議員選挙では無投票・定数割れとなり、議会では議員のなり手不足や議会の活性化を重要な課題と捉えています。この課題に対応するため、令和6年12月に議会改革特別委員会を設置し、議会カフェや各種団体との意見交換会、一般質問通告書の公開、「議会のしおり」の作成などを通じて、「議会の見える化」と住民との対話を進めています。

また、議員のなり手不足の要因の一つである「議員活動を続けやすい環境づくり」についても検討を進めてきました。議員報酬は32年間据え置かれていることから、活動実績の調査や他自治体の事例研究を行い、その結果を踏まえ、議員の報酬を月額20万円程度とするよう要望していく方針です。

今回の報告会では、これらの議会改革の取組状況に加え、議会活動や3月定例会での新年度事業・議案審査の内容、村内施設である馬曲温泉や道の駅ファームス木島平のこれまでの経過と今後の予定について報告しました。

参加者の皆さんからは、議会への関心や議員報酬をはじめ、議会改革全般について、さまざまなご意見をいただきました。

当日の主な意見・質問

- 仕事と議員活動は両立できるのか。また、議員活動にはどの程度の時間が必要なのか。
- 村の課題について、議会は継続的に状況を把握し、行政への提案や確認を行ってほしい。
- 一般質問では、それぞれの得意分野を生かしながら、より深く掘り下げた議論を期待したい。
- 農業や子育てなど、地域の身近な課題にも引き続き関心を持って取り組んでほしい。
- 移住者の受け皿づくりなど、村の将来についても考えていく必要があると思う。
- 議員になれば何ができるのか、住民にもっと伝えてほしいと思う。
- 議員活動は想像以上に大変だと感じた。
- 議会活動をもっと見える化し、理解者を増やす取組みが必要だと思う。

参加者からは、議会活動への期待や建設的なご意見を数多くいただきました。

今後に向けて

今回の報告会では、議会活動や村の課題について住民の皆さんと直接意見を交わし、多くの貴重なご意見をいただくことができました。

議会では、いただいたご意見を今後の活動に生かしながら、引き続き議会活動の見える化と情報発信に努めるとともに、議員のなり手不足の解消に向けて、議員活動を支える環境整備や、議員報酬について、村に対して「報酬審議会の開催」を求めてまいります。

今後も議会だよりや村ホームページ等を通じて、議会の取組みを分かりやすくお知らせしていきます。

議会全員協議会

(村からの提出案件)

◆4月28日

- ◎「馬曲温泉公園利活用の公募型プロポーザル実施要項(案)」について
- ◎「県道七曲西原線(中島～西小路)改良工事スケジュールと工事費補正の見込みについて
- ◎「ゴミ袋」の6月生産分からの値上げについて

◆5月11日

- ◎「馬曲温泉公園利活用の公募型プロポーザル実施要項(案)」の見直しについて(協議)

◆5月22日

- ◎「馬曲温泉プロポーザル実施要項」の変更について
- ◎「アンテナショップ新鮮屋」の今後について

◆6月12日

- ◎「堆肥センター長寿命化工事」請負契約の締結(報告・協議)
- ◎「中学校の休日部活動」地域展開の概要(報告)

◆7月2日

- ◎「馬曲温泉プロポーザル」の参加表明の結果について(報告)



次回定例会の開催予定

9月議会定例会

※現時点での予定です。

開 会 日 8月27日(木)
一般質問① 9月 2日(水)
一般質問② 9月 3日(木)
閉 会 日 9月15日(火)

請願・陳情の受付締切日

8月12日(水) 午後5時
議会事務局へ直接お持ちいただき、事務局員に説明をお願いします。



議会を傍聴しませんか

本会議は、どなたでも傍聴できます。
傍聴席は、役場2階議場後方が入口です。
また、本会議は、ふう太ネットで生放送および再放送をしています。

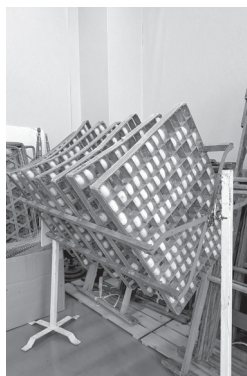
開会日と閉会日の再放送は、当日の午後10時からです。一般質問の再放送は、ふう太ネット番組表または音声放送等でご確認ください。

ON AIR



議会だより編集委員

委員長 江田 宏子
副委員長 山本 隆樹
委 員 山浦 登
関 達夫
湯本 直木
湯本 行浩



回転まぶし

山本まぶし

この時期になると、決まってい出す音があります。夕暮れの田んぼから聞こえる、カエルたちの合唱。そして、家の中にはもうひとつの合唱がありました。蚕たちが一斉に桑の葉を食べる、サワサワ、シャリシャリと、部屋いっぱい広がる命の響き。やがて繭をつくる頃になると、「回転まぶし」と呼ばれる格子の箱へ、それぞれが自分の小さな部屋に入っていきます。その重みで箱がぐるりと回る音。そして、一生に一度だけの、おしっこをする音。小さな命が大きな役目を果たす前の、清らかな合図。音は消えても、記憶は消えない。あの頃の暮らしたと、お蚕様の合唱は、今も私の中で生き続けているのです。

ちょっと
いっぶん

議員の
ひとりごと